

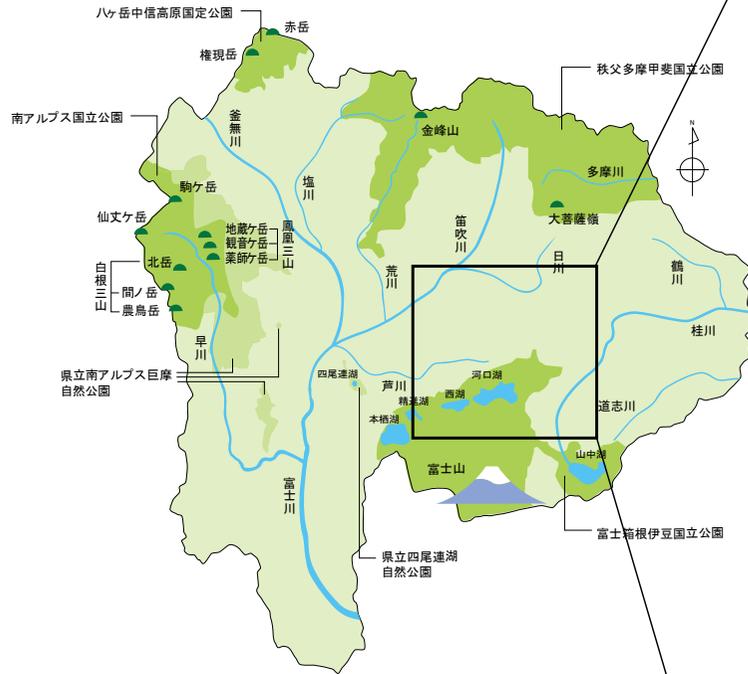
地域の概要と課題

自然	・ ・ ・ ・ ・	1
産業、物流	・ ・ ・ ・ ・	2
観光	・ ・ ・ ・ ・	3
救急医療	・ ・ ・ ・ ・	4
防災	・ ・ ・ ・ ・	5

- 国道137号の富士河口湖町域および富士吉田市域は富士箱根伊豆国立公園の区域内に位置している。
- 国道137号の周辺は第2種特別地域、第3種特別地域、普通地域の3種類が指定されている。

山梨県の自然公園

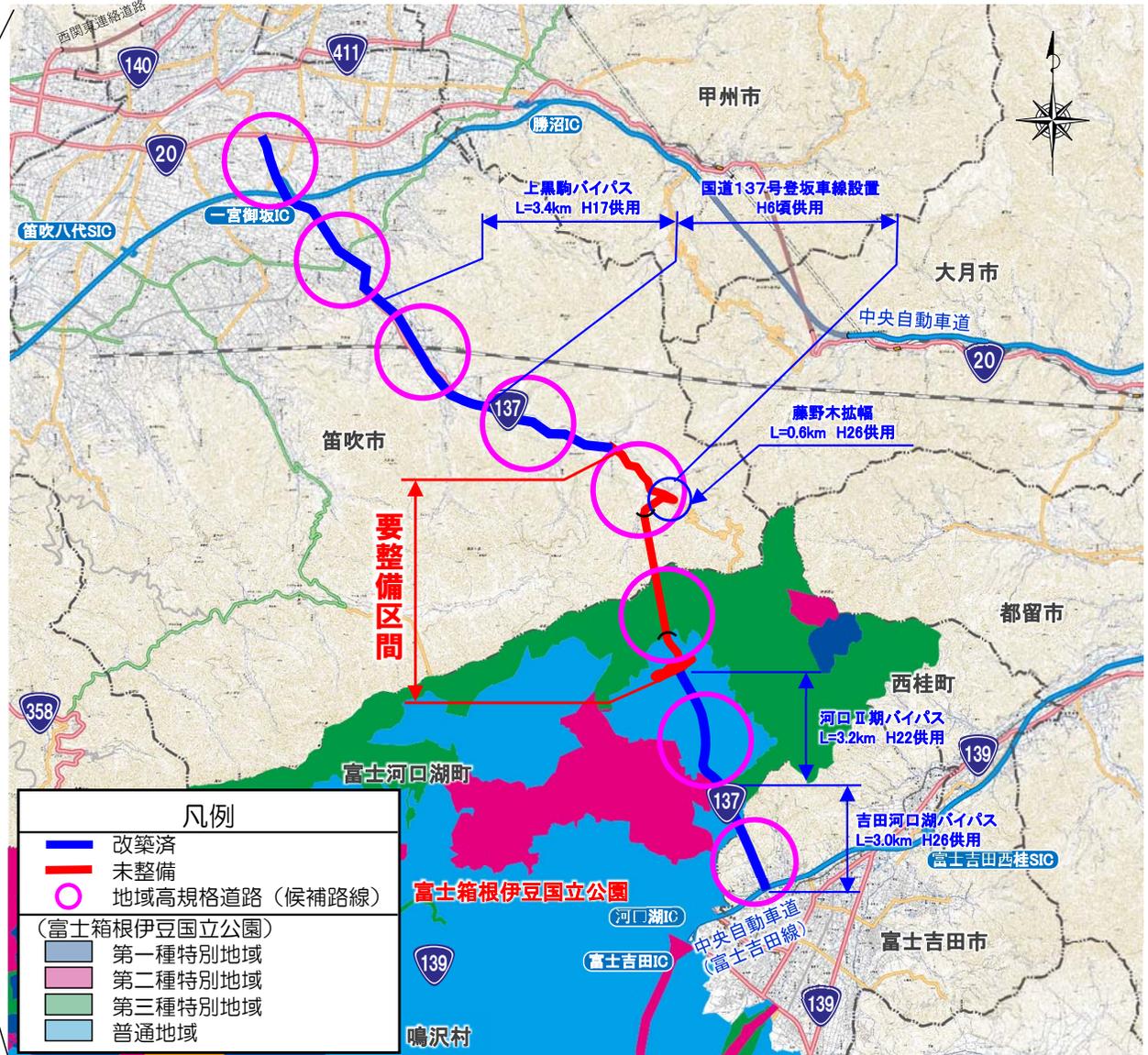
広域図



6つの自然公園の面積は
県土の約3割

自然公園名	面積
富士箱根伊豆国立公園	36,796ha
秩父多摩甲斐国立公園	46,834ha
南アルプス国立公園	18,286ha
八ヶ岳中信高原国立公園	4,086ha
県立四尾連湖自然公園	362ha
県立南アルプス巨摩自然公園	14,841ha

(注) 面積は山梨県分 出典：やまなし県のあらし2020



凡例

- 改築済
- 未整備
- 地域高規格道路（候補路線）

(富士箱根伊豆国立公園)

- 第一種特別地域
- 第二種特別地域
- 第三種特別地域
- 普通地域

資料：自然公園法に基づく区分は、環境省HPの富士箱根伊豆国立公園概要・計画書 区域図：概略図（縮尺1/200,000）を基に図示

※自然公園法に基づく区分

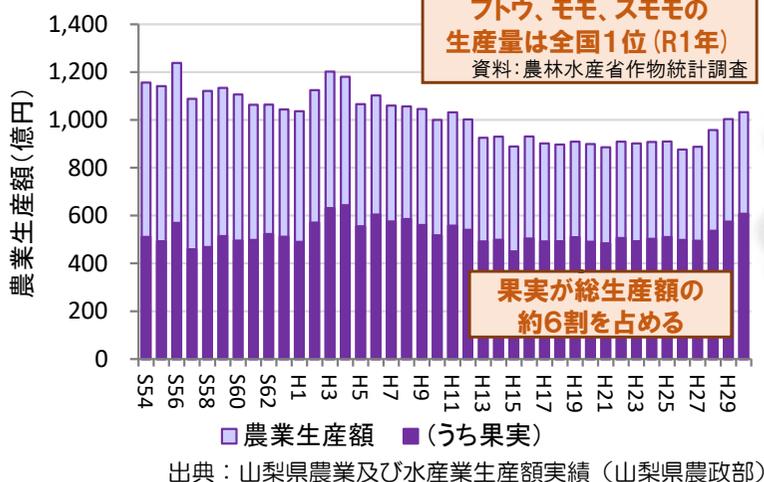
- 第一種特別地域：特別保護地区に準ずる景観を有し、特別地域のうちでは風致を維持する必要性が最も高い地域であって、現在の景観を極力保護することが必要な地域
- 第二種特別地域：第一種特別地域及び第三種特別地域以外の地域であって、特に農林漁業活動についてはとめて調整を図ることが必要な地域
- 第三種特別地域：特別地域のうちでは風致を維持する必要性が比較的低い地域であって、特に通常の農林漁業活動については原則として風致の維持に影響を及ぼすおそれが少ない地域
- 普通地域：国立公園又は国定公園の区域のうち特別地域及び海域公園地区に含まれない区域

- 一次産業ではブドウ、モモ、スモモが、二次産業では数値制御ロボット、半導体・IC測定器が全国1位で、全国に向けて出荷。
- 物流目的の交通のうち、国道137号利用が想定される富士北麓～峡中・峡東・峡北間は約1,200T.E/日、山梨県～静岡県東部地域間では約1,240T.E/日が利用。
- 県内の物流事業者は、須走道路、御殿場バイパスの整備により東名・新東名からのアクセス向上による需要拡大を期待。

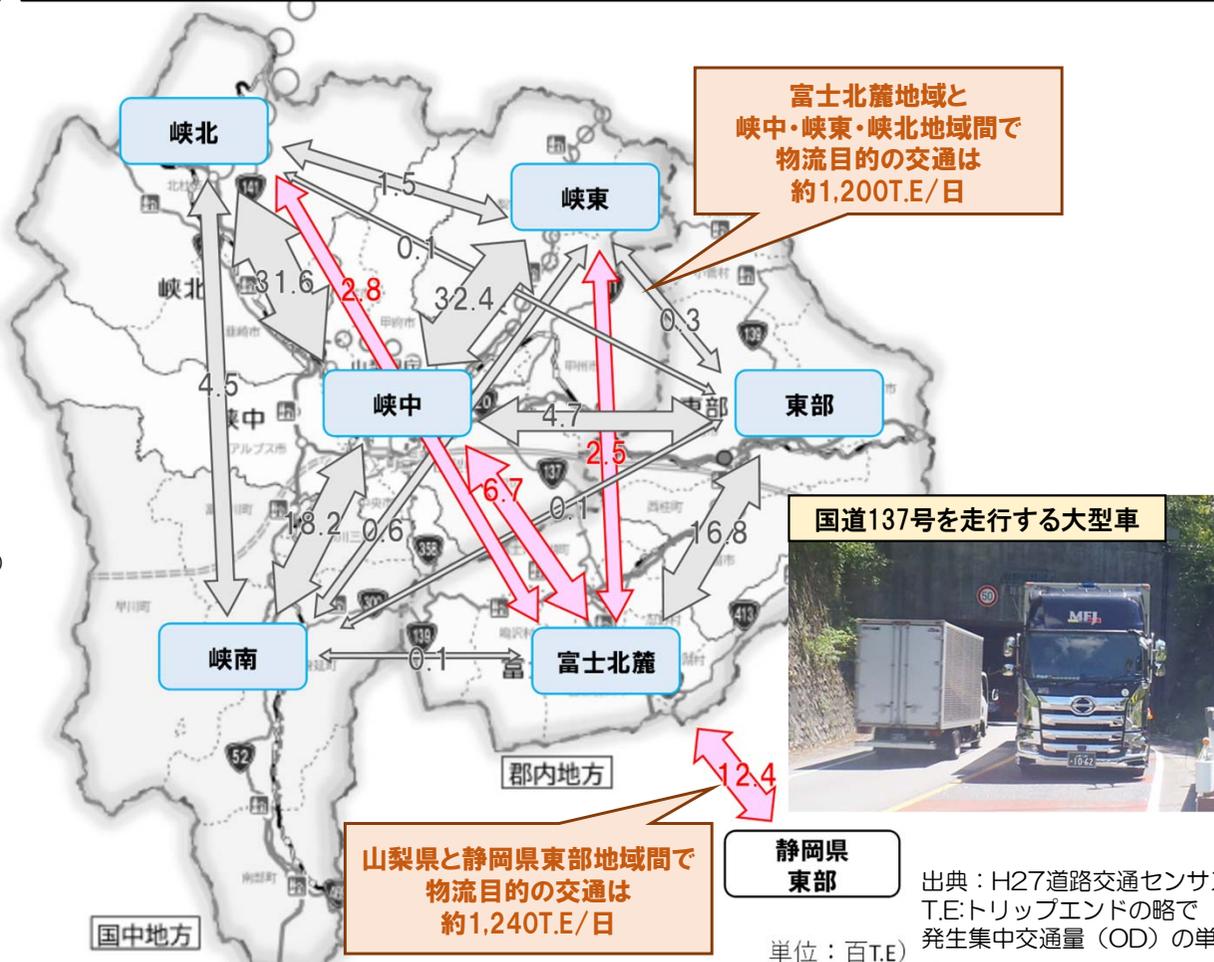
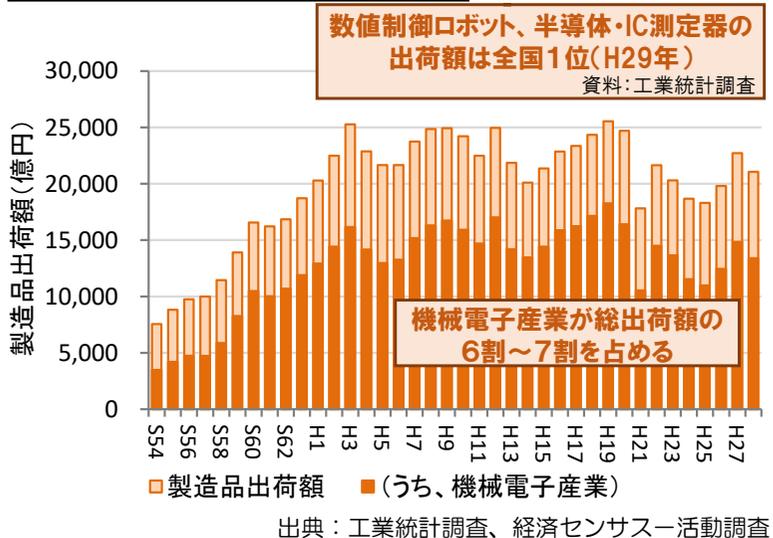
山梨の産業の特徴

富士北麓地域に関わる物流目的の交通

山梨県の農業生産額の推移



山梨県の製造品出荷額の推移



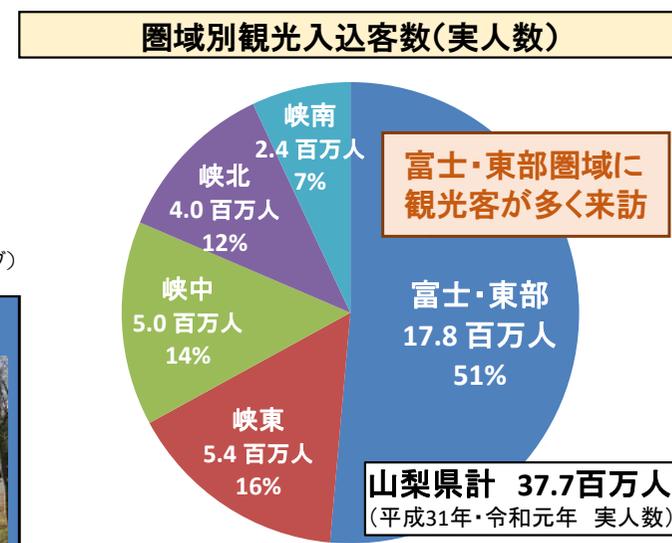
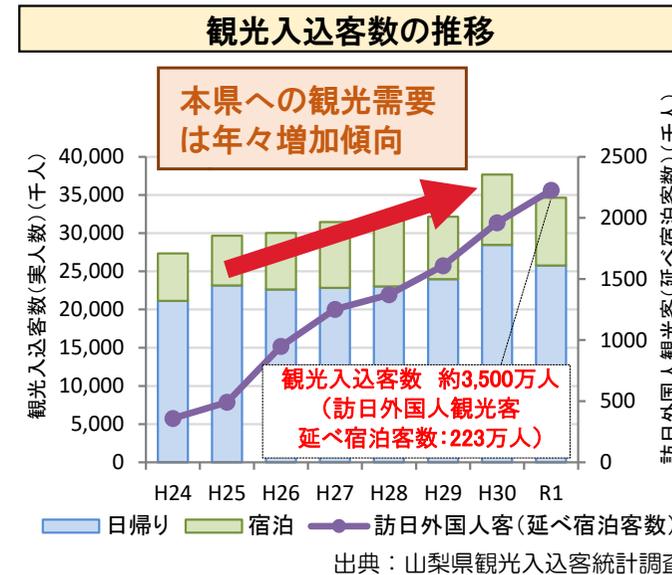
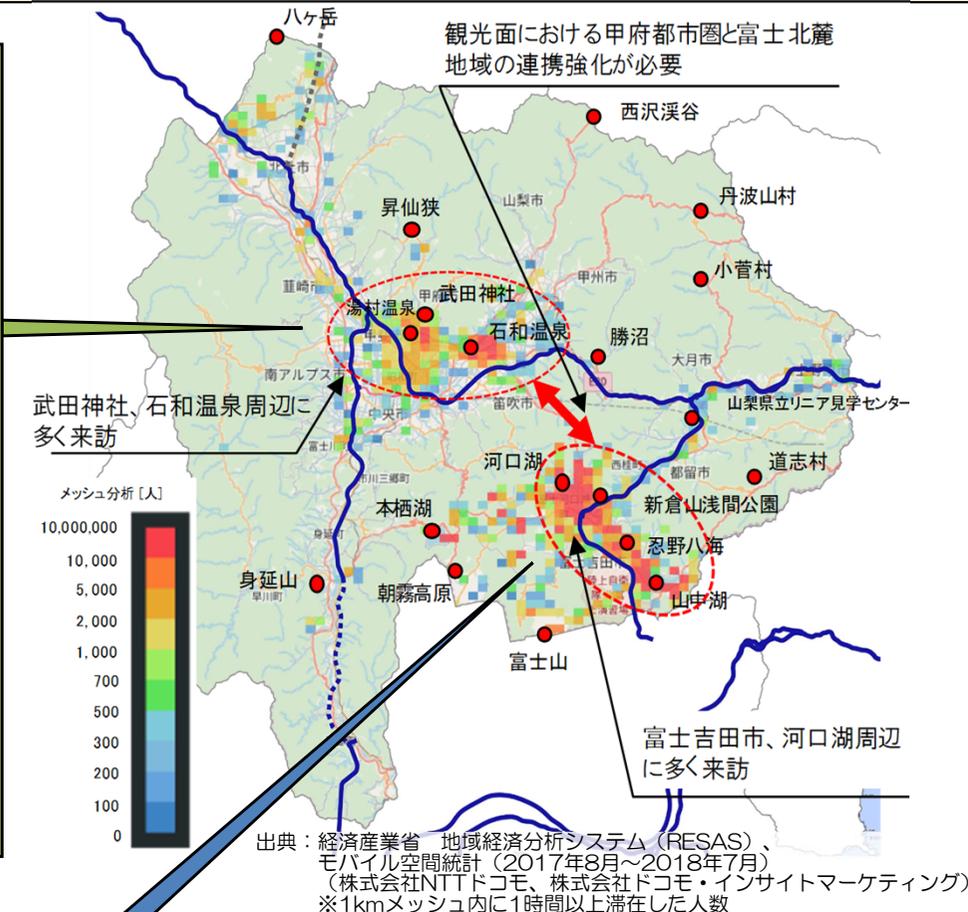
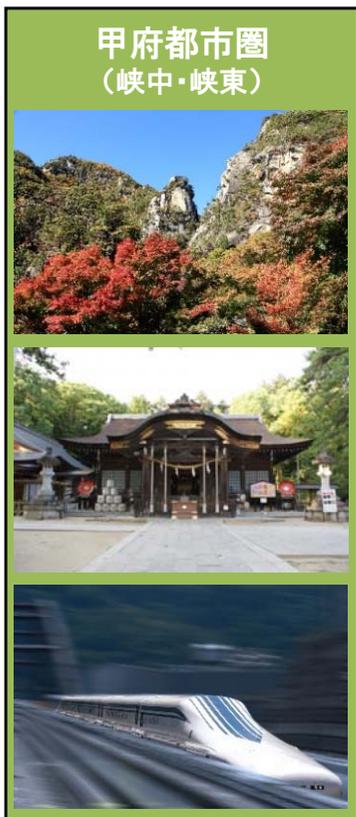
物流事業者の声(山梨県トラック協会) (R1.10 ヒアリング結果)



- ・ 須走道路、御殿場バイパスが東名、新東名と繋がることにより、国道137号などの路線を利用した物流の拡大に大いに期待している。
- ・ また、平時の物流のみならず、先日の台風19号のように中央自動車道が途絶したときの代替機能についても期待できる。

- 観光客の人気が高い甲府都市圏と富士北麓地域間の移動に1時間以上の時間を要するなど、2地域間の連携が弱いことから、観光による経済効果を県全域に波及させるために、両地域を結ぶ道路の機能強化や交通施策が必要
- リニア開業効果の富士北麓地域への波及のため、リニア駅から富士北麓地域へ短時間でアクセス可能とする道路の整備が必要

甲府都市圏と富士北麓地域を結ぶ観光ルート強化による観光入込の増加に期待



- 富士・東部医療圏(二次医療圏)には三次救急医療機関がなく、富士北麓地域から県内唯一の三次救急医療機関である県立中央病院への救急搬送は、主として国道137号を利用
- 国道137号は線形不良箇所や冬季の凍結により速度低下が発生しているとともに、重篤な傷病者への負担軽減のためにも三次救急医療機関へのアクセス強化が必要

医療機関の位置と富士五湖消防本部の管轄地域



約94,000人が
三次救急医療機関
への搬送を
主として国道137号に
依存しています

富士五湖消防本部
救急業務実施地域人口
約94,000人

凡例	
	富士・東部医療圏(二次)
	富士五湖消防本部管轄地域
	三次救急医療機関(山梨県)
	二次救急医療機関(富士・東部)

消防署の声(富士五湖消防本部)



- ・ 富士北麓から高次医療機関への搬送路として主要なルートは、国道137号。
- ・ 国道358号は走りづらく、鳴沢村などの一部の地域からの場合のみ利用。
- ・ 要望とすれば、トンネル前後の急カーブが解消できると、搬送時間が短縮されるだけでなく、搬送している患者への負担が軽減されると思う。(R2.6 ヒアリング結果)

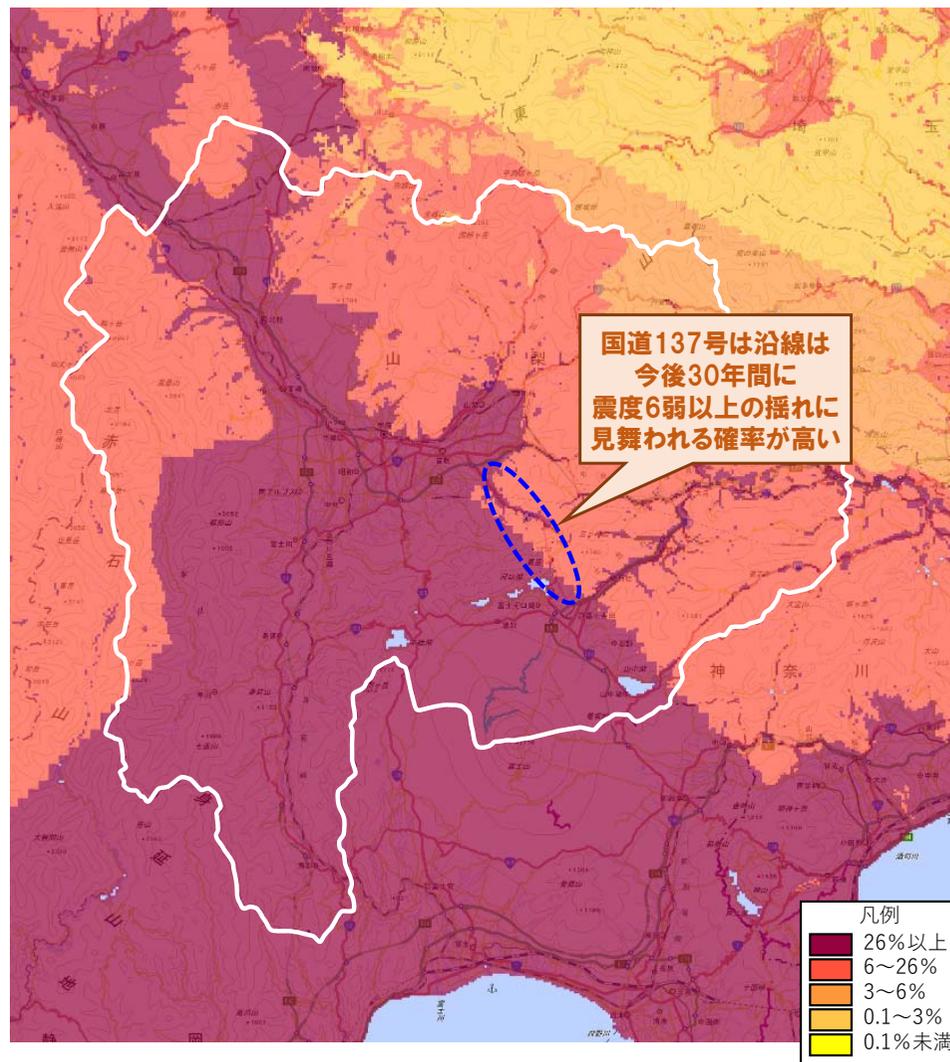
【富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部の管轄地域】
富士吉田市、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、鳴沢村

- 国道137号は、富士山噴火等の際に広域避難や、救助等を迅速に行うための軸となる路線であり、機能強化が必要。
- また、大規模自然災害発生時には、本県と東京圏を結ぶ中央自動車道や国道20号の代替路として機能。
- さらに、国道137号は一次緊急輸送道路に指定されているが、今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が高いエリアに位置しており、強靱化が必要。

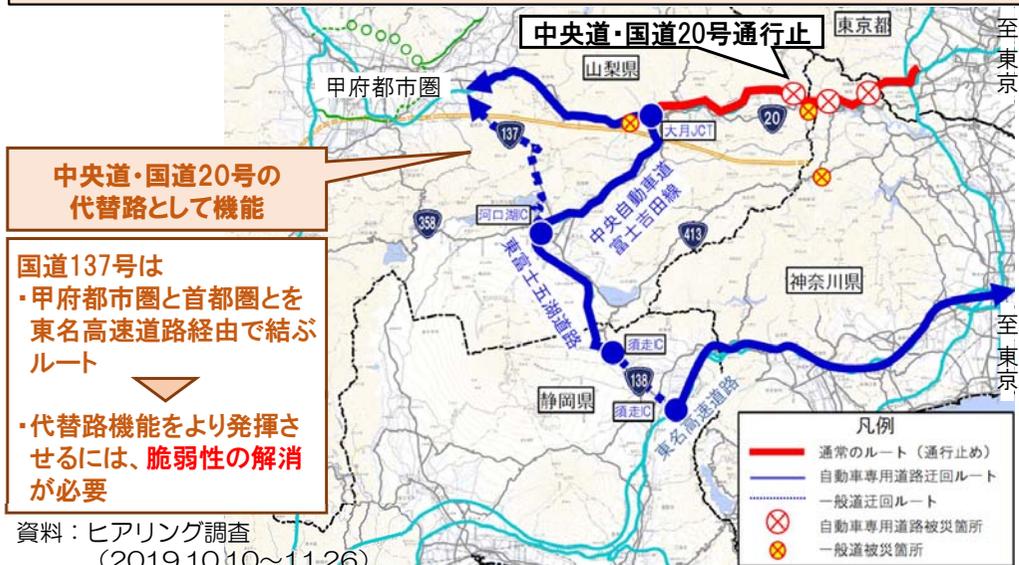
富士山噴火時における広域避難計画



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布



台風による通行止め事例 (2019年台風19号)



出典：防災科学技術研究所「確率論的地震動予測地図」(2019年作成版)
(平均ケース・全地震)